取扱説明書

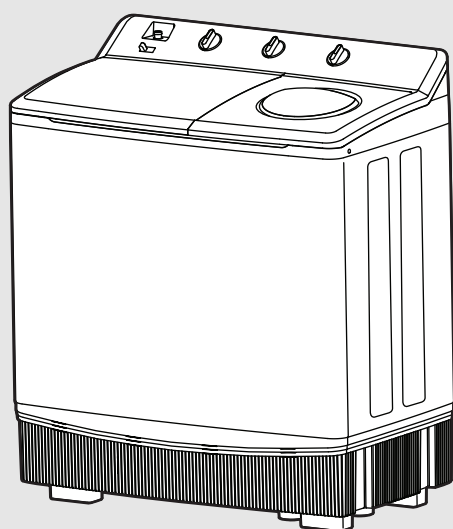
日立 2槽式 電気洗濯機

ピーエス 120 エー
PS-120A形

このたびは日立2槽式電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」〈P.3～5〉をお読みいただき、正しくお使いください。

容量12.0kg

50/60Hz共用

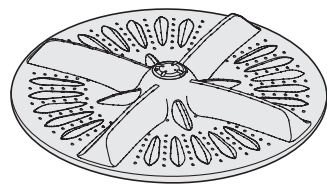
もくじ

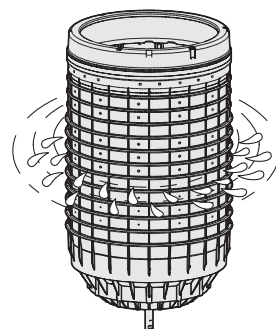
ページ

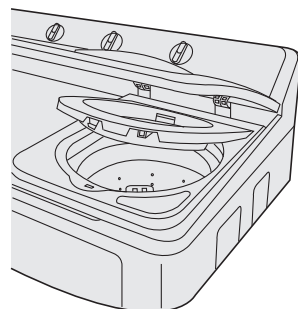
安全上のご注意…… 3
使用上のご注意…… 6
上手なお洗濯をするには…… 7
　洗濯の準備をするときは…… 7
　洗濯槽への洗濯物の入れかた…… 7
　脱水槽への洗濯物の入れかた…… 8
　洗剤・漂白剤・ソフト仕上(柔軟)剤の使いかた…… 8
　石けん(天然油脂)を使うとき…… 8
　色移り・黒ずみを防ぐには…… 8
　洗濯ネットを使うときのお願い…… 8
各部のなまえ・付属品…… 9
操作パネルのはたらき…… 10
お洗濯の順序…… 10
　準　備…… 10
　① 洗い…… 12
　② 中間脱水・脱水予備すすぎ…… 12
　③ 本すすぎ…… 14
　④ 脱水…… 14
　後始末…… 15
いろいろなお洗濯のしかた…… 16
　ドライマーク付きの洗濯物を洗うとき…… 16
　毛布を洗うとき…… 16
お手入れのしかた…… 17
据え付け…… 18
修理を依頼される前に…… 19
保証とアフターサービス…… 20
別売り部品…… 23
仕様…… 23

特長

大形パルセータ

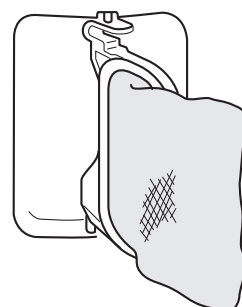
大きなパルセータで12.0kgが洗えます。

大形脱水槽

大形脱水槽で12.0kgが脱水できます。

脱水槽内ふた
センサーロックシステム

脱水槽回転中は危険防止のために、内ふたはロックされています。

つけおき洗いが簡単にできる
つけおきタイマー

タイマーをセットすれば、20分間のつけおき洗いのあと、自動的に本洗いを始めてしっかり汚れを落とします。

糸くずフィルター

左右いずれの回転でも、糸くずを捕集します。

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

電源プラグや電源コードは

●**定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
ほかの器具と併用すると分岐コンセントが異常発熱して、発火することがあります。

●**電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く**
感電やショートして発火することがあります。

●**電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る**
火災の原因になります。

●**お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
感電やけがの原因になります。

●**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
感電の原因になります。

●**傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。

●**電源コードを傷つけない**
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
電源コードが破損し、発煙・発火の原因になります。

●**テーブルタップによるタコ足配線はしない**
発煙・発火の原因になります。

●**延長コードは使用しない**
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。

アース線は

●**アース線は取り付ける**
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

安全上のご注意（続き）

⚠警告

据え付けのときは

●浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
感電や漏電による火災の恐れがあります。

●キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない
本体の異常振動により、けがや本体故障の原因になります。

洗濯物や洗剤は

●洗剤を入れすぎない
洗剤は表示に従って適量を入れてください。
泡が多量に発生して本体が故障し、水漏れや感電をする恐れがあります。

運転中、運転後は

●脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついて大けがをする恐れがあります。
特に子どもにはご注意ください。

本体の近くには

●引火物は洗濯槽、脱水槽に入れない、近づけない
（灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物）
爆発や火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近づけない
火災の恐れがあります。

●子どもを洗濯槽、脱水槽の中に入らせない、のぞかせない。
子どもには使わせない
また、本体の近くに台を置かない
洗濯槽、脱水槽の中に落ちてけがをしたり、感電、おぼれる恐れがあります。

そのほか

●動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

●分解したり、修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)

●お手入れするときなどは、本体各部に直接水をかけない
ショート・感電の原因になります。

●梱包に使用されているビニール袋をかぶらない
ビニール袋を頭からかぶると、窒息する恐れがあります。

⚠注意

洗濯物は

●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水をしない

洗濯物が傷んだり、脱水中に異常振動して、けがをする恐れがあります。

── 例えば ──

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど

運転前後、運転中は

●脱水運転中は脱水キャップを正しく入れる

洗濯物が飛び出して、けがをする恐れがあります。

●ロック中の内ふたは無理に開けない

内ふたやロック機構が破損し、けがをする恐れがあります。

●運転中は電源プラグを抜かない

故障の原因になりますので、洗濯・脱水タイマーを「切」にしてから、電源プラグを抜いてください。

●内ふたを開く前に電源プラグを抜かない

脱水中、電源プラグが抜けると内ふたのロックは解除されません。

脱水槽停止後も内ふたがロックされている場合は、電源プラグを確認してください。

※内ふたのロックは脱水停止後、短時間で解除されます。
　脱水停止後、10分経過してもロックが解除されない場合は、故障ですので修理を依頼してください。

●運転中は本体の下に手足などを入れない

けがの原因になります。

●運転中の洗濯物には手を入れない

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。

そのほか

●ふたなどのプラスチック部品や、本体に洗剤(特に液体洗剤)やソフト仕上(柔軟)剤、漂白剤がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐにふき取る

本体のさびの発生、破損、プラスチック部破損の原因になります。

●防水パンや洗濯機トレー(YT-3)を設置する

床面の汚れ、ぬれを防ぐためです。

※夏季など湿度が高いとき、冷水などの使用で洗濯槽の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。別売りの洗濯機用トレー(YT-3)の使用をおすすめします。〈P.23〉

●排水口が掃除できるように設置する

排水口が詰まると、排水不良による排水口からの水漏れの原因になります。

排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、先端が排水管に確実に差し込まれていることを確認してください。

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

本体の故障や水漏れの原因になります。

●50℃以上のお湯は使用しない

本体の故障や水漏れの原因になります。

使用上のご注意

■水圧が高い場合は水栓を絞る
●給水ホースが外れたり、注水口以外から水が漏れることがあります。

■凍結の恐れのあるとき
残水を排水したあと、水流/排水切換を「標準」にセットしておいてください。
●もし凍結したときは、約40℃のお湯を2L(リットル)程度入れ、パルセータが回るようになってからご使用ください。

■靴などを洗ったり、脱水したりしない
●本体の故障や事故の原因になります。

■テレビやラジオを近づけない
●テレビの画面が乱れたり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■溢水口はご使用ごとに掃除する
●溢水口に糸くずなどがたまって、洗濯槽から水があふれる恐れがあります。

■電源プラグをコンセントから抜き、洗濯機を移動し、下側を掃除する
●ほこりなどがモーターに入り込む恐れがあります。また、水漏れの点検にもなります。

■水はねが気になる場合はふたをする
●床をぬらすのを防ぐためです。

■使用後は電源プラグを抜く
●火災の原因になります。

■漂白剤を使うとき
●漂白剤を直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。

■入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う
●色移りや変色などを防ぐためです。

■洗濯ができないもの
●次のような衣類は洗濯機で洗濯できませんので、ご注意ください。

●皮革・毛皮・羽製品、およびその装飾品付き製品

●レーヨン、キュプラおよびその混紡品
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●絹製品
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●和服、和装小物製品

●強くよじった糸(強撚糸)を使用した製品(ウール、ちりめんなど)

●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工をした製品
●ベルベットなどのパイル地製品
●ネクタイ、スーツ、コート
・縮んだり、型くずれする場合があります。

●洗濯絵表示 のあるものや、取扱絵表示がないもの、素材表示がないもの
●毛100%や毛足10mm以上の毛布、カーペットカバー
●靴

上手なお洗濯をするには

洗濯の準備をするときは

●取扱絵表示を確認してください。

糸くずが気になるものはネットに入れる

●コーデュロイ(起毛素材の洗濯物)や濃い色の洗濯物、ストッキングなど、糸くずの付着が気になる洗濯物は、市販の「糸くず防止用洗濯ネット」に入れて洗ってください。

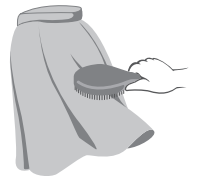
デリケートな洗濯物はネットに入れる

●レースのついた洗濯物やブラウス、ストッキング、タイツなどは、「洗濯ネット」に入れてください。
●ワイヤー入りブラジャーは、「ブラジャー専用ネット」に入れてください。

色落ちしやすいものは分けて洗う

●著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2～3枚まとめて洗ってください。

大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

●排水経路にゴミや異物が詰まり、故障の原因になります。

シャープペンシルなどは取り除く（ポケットの中も確認する）

●衣類を傷めたり、槽の穴開きによる水漏れなどの故障の原因になります。

シャープペンシルやボールペンなどの鋭利なもの、マッチ棒、ヘアピン、硬貨などは取り除く

ひもは結んで、ファスナーは閉める

●ファスナーなどによる洗濯物の傷みや、本体の故障を防ぐためです。

しみは早めに処理しておく

●しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、洗濯前に部分洗い洗剤などで処理しておくと、より効果的です。

毛玉や糸くずが気になるものは裏返す・分けて洗う

●セーターなど糸くずが気になるものは裏返してください。
●気になるものは、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。

洗濯槽への洗濯物の入れかた

大物や水に浮きやすいもの、厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物から先に入れる

●布の動きが良くなります。

上手なお洗濯をするには（続き）

脱水槽への洗濯物の入れかた

●衣類の飛び出しを防ぐために、脱水キャップを使用してください。
脱水キャップは水平にセットしてください。〈P.12〉
●脱水槽へ衣類を入れるときは、片寄らないよう均等に入れてください。
脱水槽が大きく振動し、正常な脱水が行えません。
脱水中、異常な振動がある場合は、脱水を止めて衣類を均等に調整してください。
●木綿(特にタオル類)など水を多く含むものは、脱水槽全体に広げて平らに入れてください。
絞ったまま投入すると、衣類が片寄りやすいので、脱水槽が大きく振動する恐れがあります。

洗剤・漂白剤・ソフト仕上(柔軟)剤の使いかた

洗剤・漂白剤の使いかた

洗濯槽の底から10cm位に給水し、水をかくはんしながら洗剤を入れ、2分ほど運転します。〈P.12〉
●漂白剤を使用する場合は、洗剤と一緒に入れて溶かしてください。〈P.13〉 表3

ソフト仕上(柔軟)剤の使いかた

すすぎの最後にソフト仕上(柔軟)剤を入れ、2～3分運転します。

石けん(天然油脂)を使うとき

洗濯機で直接溶かす場合

洗濯槽の底から10cm位に給水し、水をかくはんしながら石けん(天然油脂)を入れ、2分ほど運転します。
●石けん(天然油脂)は、合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを行ってください。
すすぎが十分でないと、黄ばみやにおいの原因になることがあります。
●使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れたりすると、溶け残った石けん分や石けんかすがホースや洗濯槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。

溶けにくい場合

1. **30℃ぐらいのぬるま湯を、約5L(リットル)別容器に用意します。**
2. **かき回しながら、適正量の石けん(天然油脂)を少しずつ入れます。**
   ●石けん(天然油脂)が固まったり粒が残ったりしないよう溶かしたあと、洗濯槽に入れます。

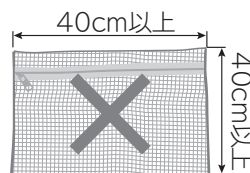
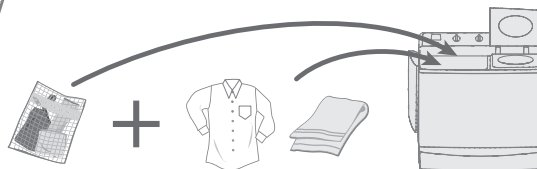
色移り・黒ずみを防ぐには

●色落ちしやすいものは分けて洗ってください。
●洗剤やソフト仕上(柔軟)剤は、表示に従って適量を入れてください。
洗剤が少なかったり、ソフト仕上(柔軟)剤を入れ過ぎたりすると、黒ずみの原因になります。
液体洗剤を使用すると、黒ずみの原因になります。粉末洗剤をお試しください。

洗濯ネットを使うときのお願い

●ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。

●ネットのファスナーはきちんと閉めてください。

●一辺が40cm以上の大きなネットは使用しないでください。洗濯物が片寄り、運転できないことがあります。

●洗濯物を入れたネットだけで運転しないでください。
ほかの洗濯物を追加してください。

各部のなまえ・付属品

〈P.○○〉カッコ内の数字は主な説明のあるページです。

操作パネル

給水口

注水口

洗濯槽ふた
左側にかけてください。

むだ水目安口
〈P.15〉

すすぎフィルター
〈P.17〉

糸くずフィルター
〈P.17〉

洗濯槽

パルセータ

脱水槽ふた

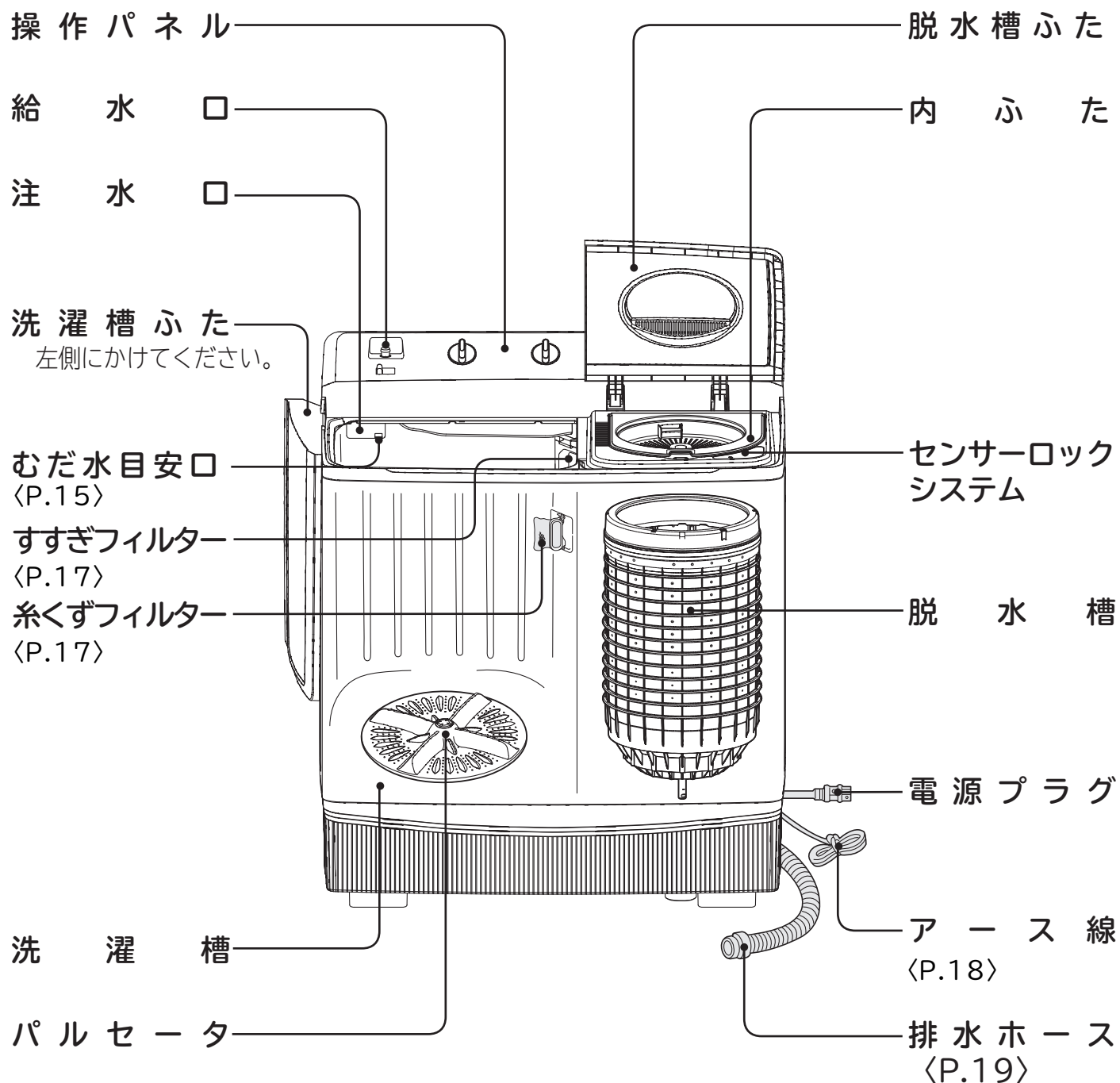
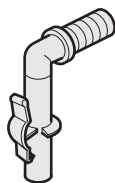
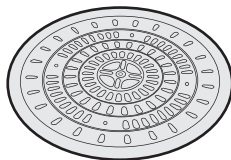
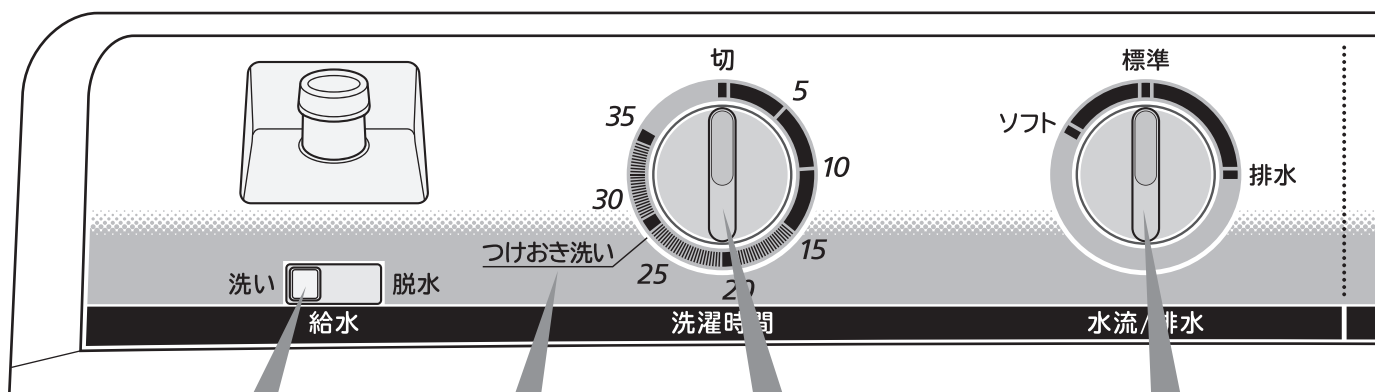
内ふた

センサーロックシステム

脱水槽

電源プラグ

アース線
〈P.18〉

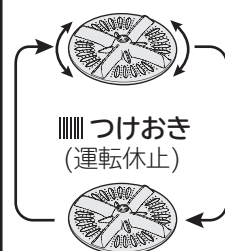
排水ホース
〈P.19〉

操作パネルのはたらき

給水切換

洗濯槽と脱水槽への給水の切り換えをします。

●「脱水」側では、脱水予備すすぎができます。

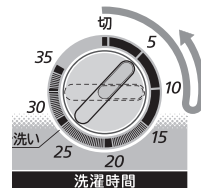
つけおき洗いについて

■運転中
(自動反転運転)

|||||つけおき
(運転休止)

●〈P.11〉をご覧ください

洗濯タイマー

「洗い」や「すすぎ」をするときに回します。

●5分以下でお使いのときは、いったん10分以上回してから戻してください。注1)

水流/排水切換

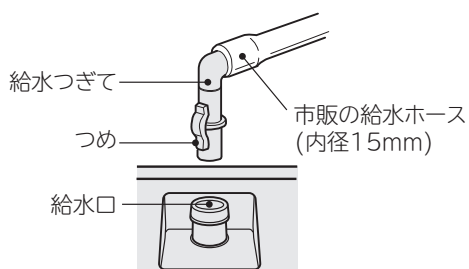
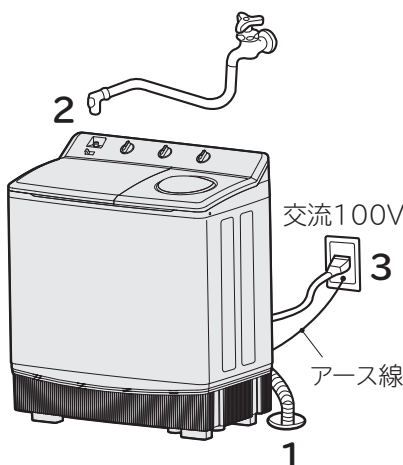
「水流(標準またはソフト)」と「排水」の切り換えをします。

お洗濯の順序

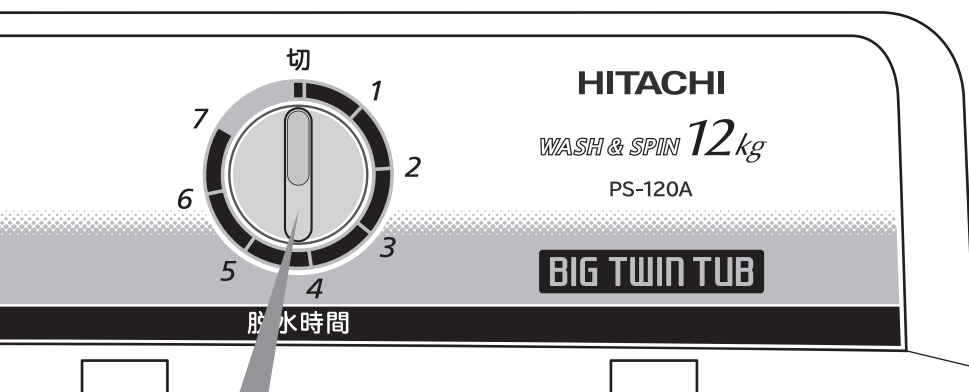
〈P.○○〉カッコ内の数字は主な説明のあるページです。

準　備

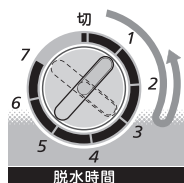
1 排水ホースを排水口につなぐ。

2 給水つぎてを給水口に差し込み、つめがカチッと音がするまで差し込む。

3 アース線を接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。

1 洗　い

● 水流を選ぶ
● 洗剤を溶かす
● 給水する
● 洗濯タイマーをセットする

〈P.12〉

脱水タイマー

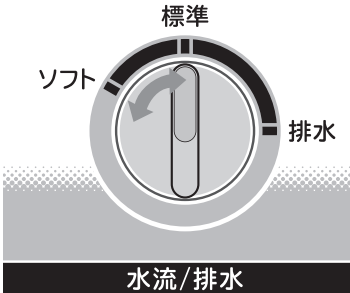
「脱水」をするときに回します。

●1分以下でお使いのときは、いったん2分以上回してから戻してください。注1)

つけおき洗いの機能・特長

●つけおき洗いにすると、洗濯効率が上がります。
●標準洗いに比べ、しっかりきれいに洗えます。
●つけおき洗いを使うには、洗濯タイマーのつまみを35分から15分の間の位置に合わせます。この位置から15分の位置につまみがくるまで、つけおき洗いで運転します。(■は運転し､パルセータが回転し、自動反転します。
||||| は運転休止の状態で、パルセータは回転しません)
15分の位置からは、通常の洗濯運転が始まります。

ご注意

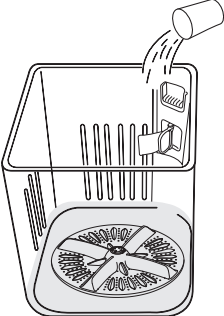
●色落ちしやすい衣類は洗わないでください。
●石けん（天然油脂）は使用しないでください。
黄ばみや黒ずみになる恐れがあります。
●入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の説明をお読みになり、ご使用ください。
衣類への色移り(特にピンク系のもの)や変色などを防ぐためです。

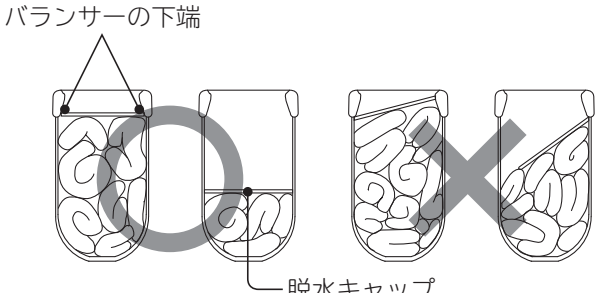
注1)時間が短い場合、タイマーが切れずに途中で止まり、モーターが回り続ける恐れがあります。

お洗濯の順序（続き）

1 洗い

1 水流/排水切換を「標準」または「ソフト」にセットする

〈P.12〉表1

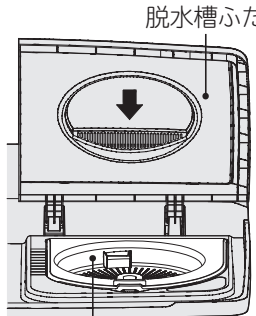
2 給水切換を「洗い」側にセットする

3 洗剤を溶かす

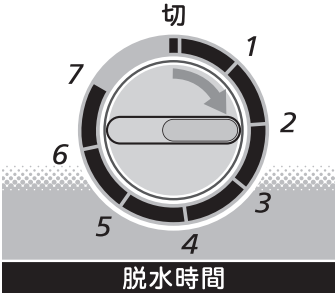
1 洗濯槽の底から10cm位に給水する。

2 洗剤を入れる。

●漂白剤を使用する場合は、洗剤と一緒に入れて溶かしてください。

〈P.13〉表3

3 洗濯時間を約2分(洗濯時間の切と5分の中間ぐらい)にセットし、洗剤を溶かす。

●いったん10分以上回してから戻します。

2 中間脱水・脱水予備すすぎ

1 洗濯物を脱水槽に入れる

洗濯物を脱水槽に均等に入れ、脱水キャップをバランサーの下端まで水平に入れます。

●振動が大きくなったり、洗濯物が飛び出してけがをすることがあります。

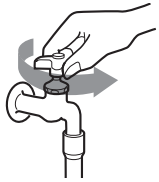
2 ふたを閉める

内ふた、脱水槽ふたを閉めます。

3 脱水する

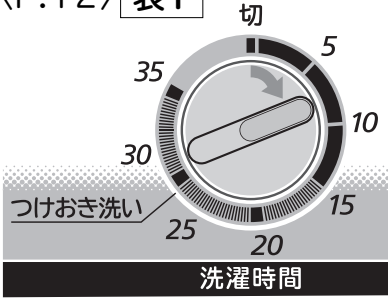
脱水タイマーを2～3分に合わせます。

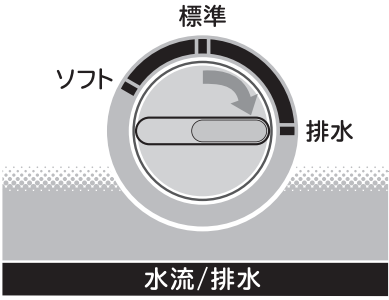
お洗濯の目安

表1　水流と洗濯時間

洗濯物の種類	洗濯時間	水　流	標準洗濯量
ひどい汚れ、厚物	10～15分	標　準	12kg以下
麻・木綿など	8～10分		
普通の衣類(下着など)	7分		
化せんなどの汚れの軽いもの	2～5分		
手洗い表示のある毛100%、毛混紡のニット製品、薄い化せん	2～5分	ソフト	3kg以下

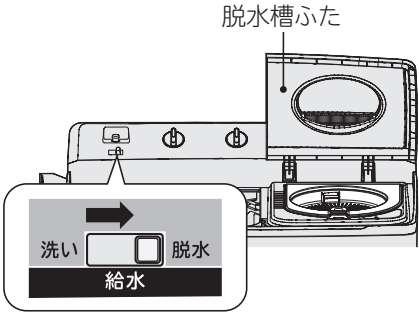
●標準洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗える量が変わります。
●普通の衣類では標準洗濯量の7～8割程度が適当です。

表2　洗濯物の重さの目安

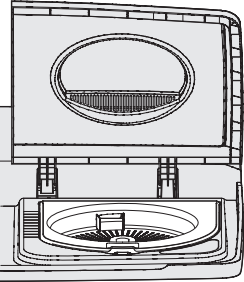
洗濯物の種類	生地の種類	1枚当りの重量
ブリーフ	綿100%	約　50g
靴下	綿100%	約　50g
タオル	綿100%	約　70g
長袖アンダーシャツ	綿100%	約150g
ブラウス	混　紡	約200g
ワイシャツ	混　紡	約200g
バスタオル	綿100%	約300g
パジャマ(上・下)	綿100%	約500g
シーツ	綿100%	約500g

4 洗濯物を入れ給水する

●給水量が多すぎる（1分間に30L（リットル）以上の給水をする）と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。

5 洗濯タイマーをセットする

〈P.12〉 表1

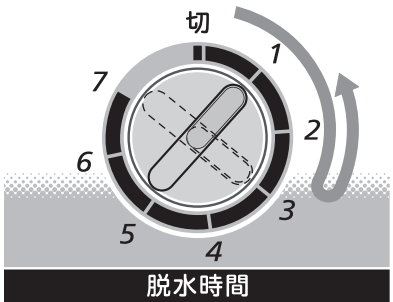
●5分以下でお使いのときは、いったん10分以上回してから戻します。

6 洗い終わったら

水流/排水切換を「排水」に合わせ排水します。

「本すすぎ」の前に「中間脱水」を行い、洗剤分を取っておきます。
さらに4～6の「脱水予備すすぎ」をすると「本すすぎ」の時間を短くでき、より節水できます。

4 ふたを開け、給水切換を「脱水」側にセットする

1 給水切換を「脱水側」にします。

2 脱水槽ふたを開けます。

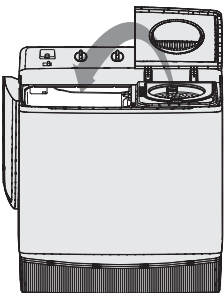
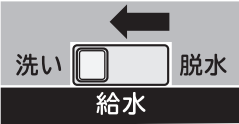
5 約1分間給水する

●給水量が多すぎる（1分間に10L（リットル）以上の給水をする）と、洗濯側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。
●脱水槽が回っているときは給水しないでください。
●脱水槽に給水しても水はたまりません。

6 ふたを閉めて脱水する

給水を止めて、再び1分脱水します。
●いったん2分以上回してから戻します。

表3 水位と洗剤・ソフト仕上(柔軟)剤・漂白剤量

●洗濯物の取り扱い絵表示に示されている洗剤・ソフト仕上(柔軟)剤・漂白剤をお使いください。
●洗剤やソフト仕上(柔軟)剤・漂白剤の使用量は、容器の「使用量の目安」を参考にしてください。

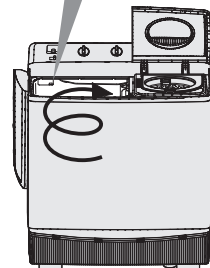
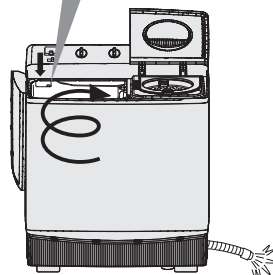
標準洗濯量	水位	水量	合成洗剤						石けん(天然油脂)		ソフト仕上(柔軟)剤				漂白剤
			粉末		液体			液体中性	粉末	液体	濃縮			普通	
			(水30Lあたり)		(水30Lあたり)				(水30Lあたり)		(水30Lあたり)				(水30Lあたり)
			20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	4mL	7mL	10mL	20mL	40mL
10～12kg	MAX	115L	77g	96g	38mL	77mL	96mL	153mL	138g	153mL	15mL	27mL	38mL	77mL	153mL
8～10kg	H(高)	105L	70g	88g	35mL	70mL	88mL	140mL	126g	140mL	14mL	25mL	35mL	70mL	140mL
8kg以下	M(中)	85L	57g	71g	28mL	57mL	71mL	113mL	102g	113mL	11mL	20mL	28mL	57mL	113mL

お洗濯の順序（続き）

③ 本すすぎ

「本すすぎ」には「ためすすぎ」と「注水すすぎ」があります。

●「ためすすぎ」をすると節水になります。
●「注水すすぎ」は念入りにすすぎたいとき行います。

1 洗濯物を洗濯槽に移す	2 水流/排水切換を「標準」または「ソフト」にセットする	3 給水切換を「洗い」側にセットする
		洗い 給水 脱水

節水 → **ためすすぎ**

念入り → **注水すすぎ**

④ 脱　水

洗濯物を脱水槽に移し、脱水する。(中間脱水・脱水予備すすぎの1～3と同じ操作をします〈P.12〉)

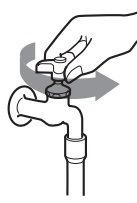
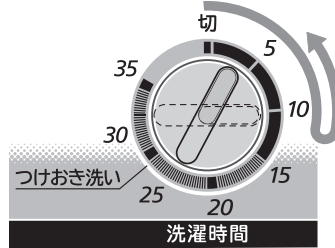
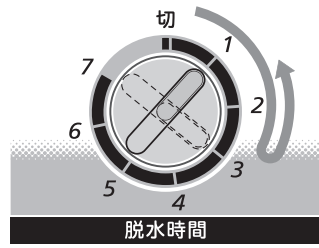
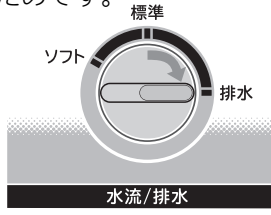
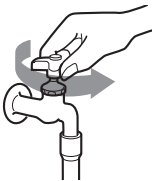
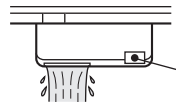
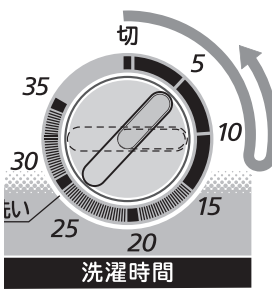
⚠警告

脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物に手などを触れない
●ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。
特に子どもにはご注意ください。

⚠注意

●脱水中、脱水槽の内ふたを開けたとき、脱水槽が回転している場合は故障ですので直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

■脱水時間の目安

洗　濯　物	脱水時間
シーツ(木綿、タオル地)	3～7分
アンダーシャツ(木綿)	2～4分
ワイシャツ(混紡)	1～2分
薄物(化せん)	1分

すすぎのポイント

■「洗い」終了時に洗濯槽の底のあわ残りが気になる場合
水流／排水切換を「排水」にして洗濯槽に給水しながら洗濯タイマーをまわしてパルセーターを2～3秒間回転させ、その後洗濯タイマーを「切」に戻す。
この動作を3～4回繰り返してください。
(あわを水の中に巻き込ませるための操作です)

■「すすぎ」終了時に水面のあわ残りが気になる場合
「すすぎ」の最後に3分ほどソフト水流で注水すすぎをしてください。
あわ残りを少なくすることができます。
●「すすぎ」が終わった水を次の “洗い” に利用すると節水になります。

4 設定した水位まで給水する	5 洗濯タイマーを2～3分に合わせる	6 洗濯物を脱水槽に移し、1分間脱水する	7 脱水後1分ほどしてから排水する
●給水量が多すぎる(1分間に30L(リットル)以上の給水をする)と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。 **水位に達したら水栓を閉めます。**	●いったん10分以上回してから戻します。	●いったん2分以上回してから戻します。	●脱水側の排水をよくするためです。 **すすぎが不十分の場合は、4～7をさらに1～2回繰り返します。**

4 MAXの水位まで給水する	5 水量を調節して給水を続ける	6 洗濯タイマーを3～5分に合わせてすすぐ
●給水量が多すぎる（1分間に30L(リットル)以上の給水をする）と、脱水側へ水がもれることがあります。水量を調節してください。	**「むだ水目安口」から水があふれないよう、水量を調節します。** ●注水すすぎ時の水位は、洗濯水位より高くなっています。 ※水位線よりも内部のいっ水口が高くなっているためです。	●中間脱水・脱水予備すすぎを行っていないときは、7分にセットします。 ●いったん10分以上回してから戻します。 ●すすぎが終わったら水栓を閉めます。

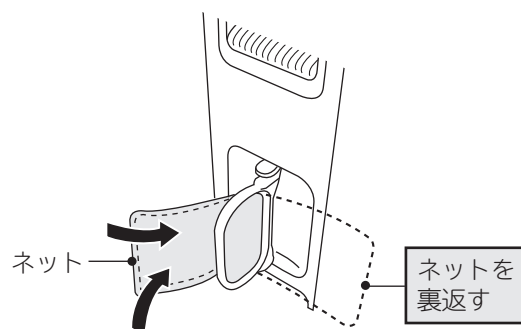
後　始　末

1 電源プラグをコンセントから抜く。

⚠警告

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
●感電やけがをすることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く
●感電やショートして発火することがあります。

2 フィルターについた糸くずを取り除く。〈P.17〉

脱水のポイント

●くつ下やハンカチなどの小物は、飛び出しを防ぐため脱水槽の底の方に入れてください。
●脱水中に異常音がしたら、脱水を止め、洗濯物を均等に入れ直してください。
●排水をよくするため、脱水したあとで、洗濯槽の水を排水してください。
●洗濯物は脱水槽に均一に入れてください。均一に入れないと、振動が大きくなることがあります。

■脱水槽の外側に洗濯物が落ちたとき

1 電源プラグをコンセントから抜く。

2 お買い上げの販売店に連絡していただき、修理を相談する。〈P.21〉

いろいろなお洗濯のしかた

ドライマーク付きの洗濯物を洗うとき

洗濯できるもの

衣類の取扱絵表示

(弱い手洗いが良い)**表示または、**(洗濯機による洗濯ができる)**表示のもの**
(ドライクリーニングができる)**表示と、**　**または**　**表示の組み合わせのもの**

■上記の絵表示があっても、洗えないものがあります。〈P.6〉
クリーニング店にご相談することをおすすめします。

●セーター、カーディガン(ウールなど)
●スラックス、スカート(混紡など)
●ブラウス、シャツ、ワンピース(ポリエステルなど)
●学生服、セーラー服

※ (水洗いはできない)**表示のものは、洗濯機で洗濯できませんのでご注意ください。**
(溶剤は石油系のものを使用する)**表示のものは、洗濯機は使用できません。**

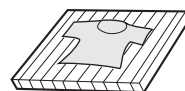
■水位の目安

水位	洗濯物の量
H(高)	3.0kg

■お洗濯の目安

水流	洗い	中間脱水	注水すすぎ	脱水
ソフト	約2分	30秒以下	約2分	30秒以下

お洗濯のポイント

●洗濯物の絵表示の洗剤を溶かしてご使用ください。
毛、ニットの洗濯は約30℃のぬるま湯が適当です。
●洗濯物は裏返しにして、市販のネットに入れ、洗濯液にしみ込ませてください。
●汚れがひどいときは、あらかじめ洗濯液につけ置きすると(5分程度)効果的です。
●干しかた
形くずれしないように、風呂のふたなどを使って平干しします。

毛布を洗うとき

洗濯できる毛布

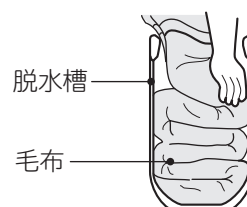
●(弱い手洗いが良い)表示の毛布。
●アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布
〔幅140cm×長さ200cm以下、1枚の重さが3.5kg以下(シングルサイズ)〕
●電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

●ほかの洗濯物を追加しないでください。

■お洗濯の目安

洗濯量	水位	水流	洗いかたの目安					
			洗濯時間	脱水	ためすすぎ	脱水	注水すすぎ	脱水
3.5kg以下	H(高)	標準	5分	1分	2分	1分	2分	3分

お願い

●洗剤は合成洗剤を使用し、あらかじめ溶かしてください。
●洗濯中に毛布が浮き上がった場合は、洗濯液に押し込んでください。
●脱水槽に移すときは、軽く絞りながら、右の図のように脱水槽に入れてください。
脱水キャップをご使用ください。脱水キャップのセットのしかたは〈P.12〉

お手入れのしかた

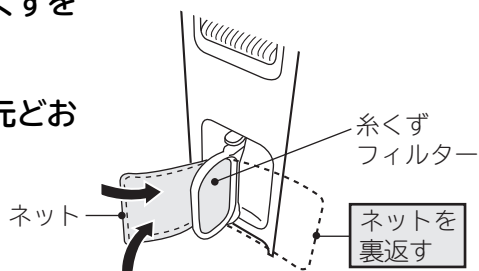
本体に付いたほこりや汚れは、湿った柔らかい布でふき取ってください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
糸くずフィルターやすすぎフィルターはご使用ごとに清掃してください。

糸くずフィルター

●糸くずは湿っているときの方が、簡単に取れます。

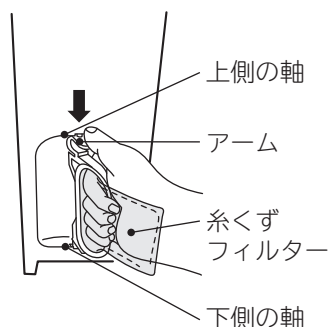
■糸くずの取り除きかた

1 ネットを裏返しにして糸くずを取り除く。

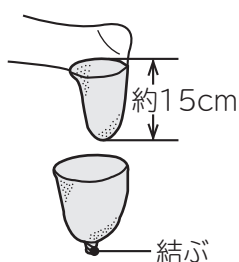
2 ネットを元どおりに戻す。

■糸くずフィルターを外すとき

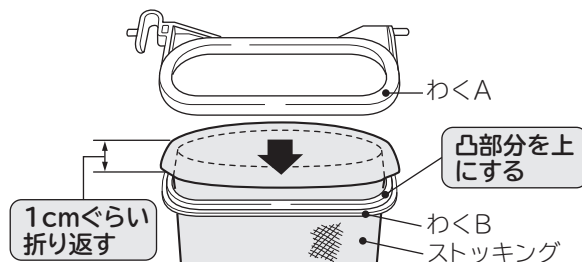
1 アームを下の方向に押して、手前に引く。

2 元どおりにセットする。

●下側の穴に軸を差し込み、アームを押しながら上側の軸を押し込みます。

ネットが破れたとき

糸くずフィルターは消耗品です。ネットが破れたときは、販売店でお買い上げください。〈P.23〉ナイロンストッキングも次の方法で利用できます。

1 ストッキングの先を約15cm切る。

●筒状の部分を用いるときは、端部を結んでください。

2 ストッキングをわくBの中へ入れ、わくAをはめ込む。

すすぎフィルター・溢水口部の清掃

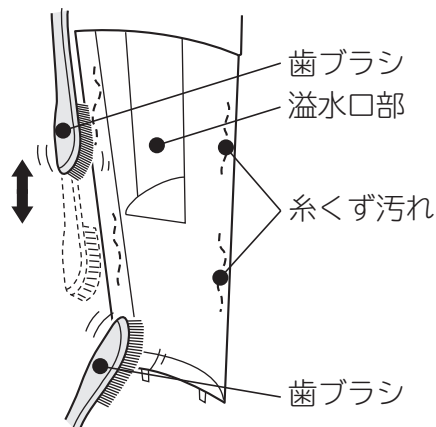
1 つまみ部に指を入れて手前にひっぱり、すすぎフィルターを取り外して、糸くずを取り除く。

2 すすぎフィルターの裏側・溢水口部の汚れを取り除く。

●歯ブラシなどでこすり、水で洗い流してください。

3 糸くずや砂やどろは、水流/排水つまみを「排水」に合わせて水で洗い流す。

●清掃をしても洗濯水がホースから漏れたり、排水が良くできない場合には、お買い上げの販売店にご連絡していただき、点検を依頼してください。

4 元どおりにセットする。

据え付け

初めてお使いになるとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場の性能テストの残水です。開梱時ほこりが付いていることがありますが、これは倉庫保管時に付いたものです。

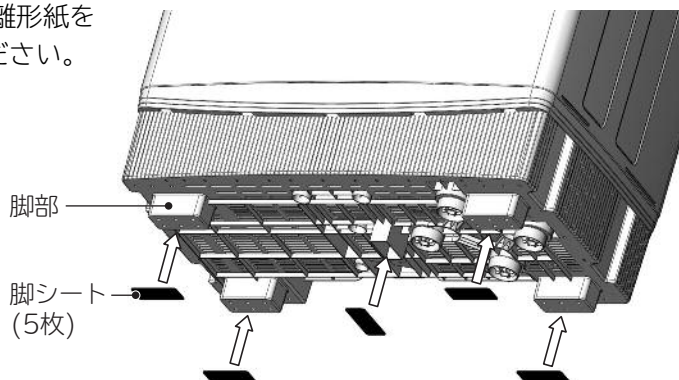
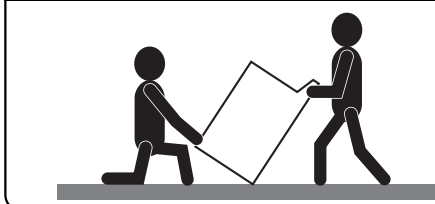
洗濯機の据え付け

乾燥した風通しのよい、水平でしっかりした床に据え付けてください。

ご注意

●直射日光の当たる場所は避けてください。洗濯機の部品の変形、変色の恐れがあります。

●脚シートを貼り付けてください。
付属の脚シートに貼り付けてある両面接着テープの離形紙をはがし、本体の5か所の脚部に下から貼り付けてください。

●脚シート貼り付け時のご注意

アース線の取り付け

⚠警告

アースを取り付ける
●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

■アース線は取り付けてください。

●万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。

●アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

●設置場所の変更や転居の際には、アースの取り付けを行ってください。

アース端子がある場合

アース線をアース端子に取り付けてください。

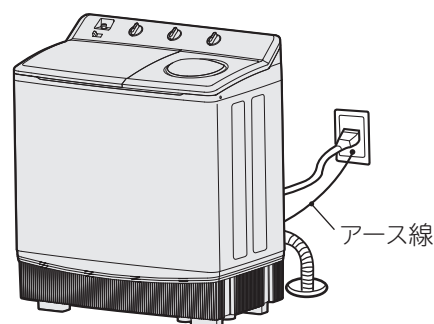
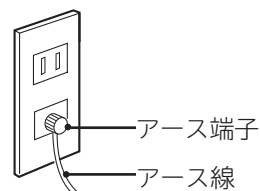
アース端子がない場合

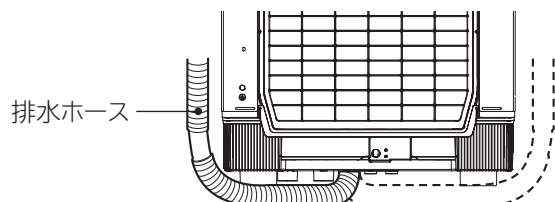
アース工事をしてください。

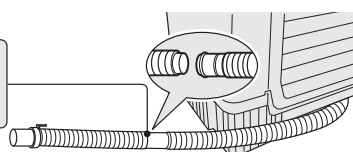
●電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています。

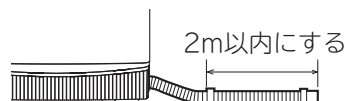
ご注意

次のようなところには、アース線を接続しないでください。(法令などで禁止)

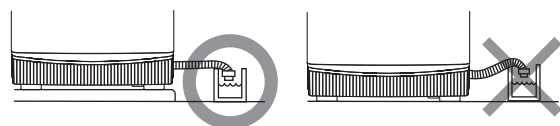
●ガス管、電話線、避雷針、水道管
水道管は途中から塩ビ管になっている場合がありますので避けてください。

排水ホースについて

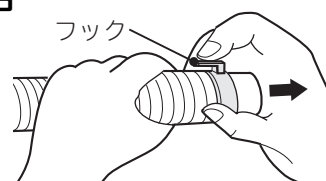
排水ホースは、洗濯機の後ろ側から出ています。
排水ホースは左右に引き出せますので、排水場所にあわせてご使用ください。

■ホースが長い場合

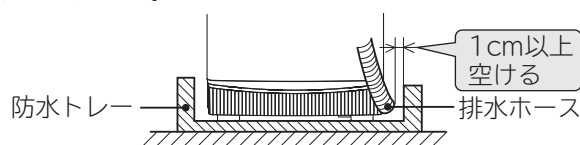
ホースが長く余る場合は、ホースの途中にストレート部がありますので、ナイフなどでカットしてください。

■排水ホースを延長する場合

延長する部分の長さは
2m以内にしてください。

ホースの延長には、別売り部品の排水ホース(部品番号KW-50K1　023)をお勧めします。〈P.23〉

■排水ホースの途中が持ち上がる場合

洗濯機を台の上において、排水の流れをよくしてください。

■フックが当たって、排水ホースが排水口に差し込めない場合

フックを回しながら
ひっぱって外します。

■防水トレーと組み合わせる場合

別売りの防水トレーを使う場合は、排水ホースがつぶれないように防水トレーと排水ホースの間を1cm以上空けてください。

修理を依頼される前に

異常が生じたときは、次の点検をしてください。

症　　状	点検するところ	症　　状	点検するところ
運転しない	●ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグとコンセントが接触不良になっていませんか。 ●パルセータの周囲の残水が凍結していませんか。〈P.6〉	脱水ができない	●洗濯物が片寄っていませんか。 ●落ちた洗濯物が排水口をふさいでいませんか。 ●脱水槽の周りがあわでいっぱいになっていませんか。 ●排水ホースの途中が持ち上がっていませんか。また、2m以上延長されていませんか。
洗濯物の動きがよくない	●洗濯物を入れ過ぎていませんか。		
脱水槽が動かない	●脱水槽ふたが閉まっていますか。 ●脱水槽の外側に洗濯物が落ち、軸に巻きついていませんか。(くつ下など)〈P.15〉	排水ができない	●すすぎフィルターが糸くずで詰まっていませんか。〈P.17〉 ●排水ホースがつぶれていませんか。
内ふたが開かない	●電源プラグを抜いていませんか。〈P.5〉		

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は､「お買い上げ日･販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」〈P.21〉にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは　出張修理

19ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って､販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	電気洗濯機
型　式	ピーエス120エー PS-120A
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短期間で部品の交換（駆動部ユニット、ベルトなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをおすすめします。
●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検	★長年ご使用の洗濯機の点検を			
	ご使用の際、このような症状はありませんか？	●脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。（ホース、水槽、給水つぎて） ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●そのほかの異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談はエコーセンターへ
TEL 0120-3121-68　　FAX 0120-3121-87
(受付時間) 9:00～19:00 (月～土)、9:00～17:30(日･祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ
TEL 0120-3121-11　　FAX 0120-3121-34
(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日･祝日)　年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ
TEL 0120-1454-58
(受付時間) 9:00～17:30(月～金)　土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。
ＵＲＬ http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/toiawase.html
または　日立家電修理　検索

「お問い合わせ」ページの 出張修理の Web 受付 ボタンより入力画面にお進みください。
（注）対象製品をご確認のうえお申込みください。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

保証とアフターサービス（続き）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

	【設計上の標準使用期間】　7年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

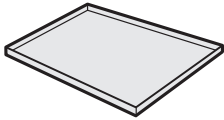
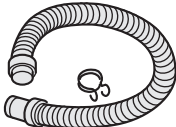
(設計上の標準使用期間とは)

・運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

(社)日本電機工業会自主基準HD-116-5による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	洗い(7分)→脱水(3分)→すすぎ(5分)→脱水(3分)	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	上記行程での時間(18分)	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年	
注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2012年9月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

■洗濯機用トレー (YT-3)	■糸くずフィルター (NET-701)	■延長用排水ホース(約80cm) (KW-50K1 023)
希望小売価格 15,750円(税抜 15,000円)	希望小売価格 630円(税抜 600円)	希望小売価格 840円(税抜 800円)

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

種類	電気洗濯機	標準水量	MAX：115 L	質量	約47kg
電源	100V 50／60Hz共用		H(高)：105 L	定格時間	洗濯側：40分
洗濯方式	うず巻式		M(中)： 85 L		脱水側：15分
標準洗濯容量	12.0kg	外形寸法	幅 1021mm 奥行 571mm 高さ1130mm	消費電力	洗濯側 300/410W
標準脱水容量	12.0kg			50Hz/60Hz	脱水側 180/220W

	このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く） JIS C 0950：2008

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　　　　　　電話（　　）　－

ご購入年月日　　　　　　　　年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

3-K5576-5B

H2(C)